

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

<研究課題名>

児童における足趾把持筋力とバランス能力・身体能力との関連性の検討

<研究期間>

実施承認日～2022年3月31日

<研究の目的・意義>

近年、児童の身体能力が低下していると言われていています。児童における足の指を曲げる筋力と身体能力やバランス能力の関係性を示すことで、足の指を曲げる筋力の低下を示す児童に対して足の指の筋力を強くする事で、片足立ち、ジャンプなどの身体能力の向上の可能性があると考えられています。しかしながら、先行研究は成人を対象とした研究が多く、児童を対象とした研究は少ないのが現状です。以上より、本研究の目的を児童における足の指を曲げる筋力とバランス能力・身体能力との関連性を検討することとさせていただきます。

<研究方法>

名古屋大学と愛知県三河青い鳥医療療育センターの共同研究である健診事業の参加者で、2021年2月から2021年9月までに健診事業に参加し、データの二次利用に関する同意を得られたものを対象とします。対象者は通常学級に通う6～12歳の児童とします。対象者のうち、知的発達遅延等の発達障害、整形外科的疾患、神経外科的疾患を有する者、足部変形を有する者、神経外科的疾患を患ったことがある者を除きます。共同研究で得られたデータのうち、2021年9月までに収集された健診データを二次利用します。具体的にはBody mass index、身長、性別、年齢、足趾把持筋力（足の指を曲げる筋力）、バランス能力を見る項目として開眼片脚立位テスト（片脚立ち）、2ステップテスト、運動能力を見る項目としてTimed Up and Go Test、立ち幅跳び、最大10m歩行を参照させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、足趾把持筋力（足の指を曲げる筋力）とバランス能力・身体能力が関係するかどうか検討させていただきます。

<予測される利益・不利益について>

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。また、過去の記録をもとに検討いたしますので、今回参加いただいた患者さんへの新たな負担や副作用などの不利益はありません。

<本研究の実施について>

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けたうえで行われます。

もしも対象者の皆様がこの研究へのご自身の情報の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡・ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがありますのでご了承ください。

連絡先：

名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻

研究責任者 教授 杉浦英志

住所 名古屋市東区大幸南1-1-20

電話 052-719-1364

FAX 052-719-1506

苦情の受付先：

名古屋大学医学部保健学科 総務係

電話 052-719-1504

<個人情報の保護について>

研究に用いる情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって対象者の皆様の個人情報が他に漏れる心配はありません。

<費用について>

この研究に関して、参加者の皆様へ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。